

参加者募集!

★お申込みは TIFA 事務局 (Tel. 06-6840-1014) まで

◆TIFA 国際子どもキャンプ 2009

今年も夏休みに2泊3日のキャンプを開催します。
 期間: 2009年8月5日(水)~7日(金)
 場所: 豊中市立青少年自然の家(能勢町宿野)
 対象: 小学4年生~中学3年生 募集人数: 80名
 集合・解散: 豊中市役所前(予定) 参加費: 8000円

いろんな国のことを知り、世界のひとと友だちになろう!



◆高校生のための日本語クラス

日本語を母語としない高校生のための夏休み短期講座です。授業を理解するための日本語、日本で知っておくと便利なことなどを学びます。
 日時: 2009年7月27日(月)~31日(金) 13:30~16:45
 場所: 大阪市浪速区文化センター 5階 集会室 (JR芦原橋から50m)

◆外国人のための日本語教師養成講座「にほんご こうざ」

新しく日本にやってきた人たちに教えられるように、生活に必要な日本語をこいっしょに勉強しましょう。お子さまづれでも参加できます。
 日時: 毎週月曜日 10:00~12:00 場所: グローバルとよなか

会員を募集しています

- 正会員(活動会員) … 入会金 2000円 年会費 6000円(月500円)
TIFAで実際に活動を行う会員です。何かやってみたいという方はぜひ。
- 賛助会員 … 年会費 一口3000円 TIFAの活動を資金面で継続的に支援していただく会員です。年3~4回のニュースレター等をお送りします。
- 寄付 … 金額は自由 TIFAの活動のために大切にに使わせていただきます。
入会方法など、くわしくは TIFA 事務局にお問合せください。

イベントカレンダー

<p>リサイクルバザー 7月11日(土) 10:00~12:00 場所: くらしかん 食器、衣類、日用品などが沢山出ます。</p>	<p>世界の文化シリーズ「スリランカの今」 7月13日(月) 10:00~12:00 場所: グローバルとよなか ゲスト: ティラカ・ピアシーさん</p>	<p>エコミーからエコロジーへ ~ドイツと日本はこんなにちがう~ 7月15日(水) 13:30~15:30 場所: くらしかん 1F 生活情報ひろば 講師: 平子義雄さん</p>
<p>高校生のための日本語クラス 7月27日(月)~31日(金) 13:30~16:45 場所: 大阪市浪速区文化センター 対象: 日本語を母語としない高校生</p>	<p>TIFA 国際子どもキャンプ2009 8月5日(水)~7日(金) 場所: 豊中市立青少年自然の家 対象: 小学4年生~中学3年生</p>	<p>多文化子育てサロン 毎月第1・3木曜 10:00~12:00 場所: とよなか国際交流センター 外国人親子の交流・情報交換の場です</p>
<p>サンデーバザー 毎月第3日曜 10:00~12:00 場所: グローバルとよなか 衣類・アクセサリ等の新品が出ます。 新鮮野菜や手作りお菓子があるかも?</p>	<p>環境井戸端会議 毎月第3日曜 12:30~13:50 場所: グローバルとよなか 地球規模の環境問題を学び、今私たちにできることを考えましょう。</p>	<p>にほんご こうざ (外国人のための日本語教師養成講座) 毎週月曜日 10:00~12:00 場所: グローバルとよなか 外国人対象。お子さま連れでも参加OK!</p>

発行: 特定非営利活動法人 国際交流の会とよなか

TIFA (国際交流の会とよなか)は、豊中市にて1985年11月に発足しました。メンバーと地域に住む外国人が協力し、言葉や文化、国籍が異なる人たちがともに生きやすい社会の実現を目指して活動しています。

事務局 〒560-0022 大阪府豊中市北桜塚 4-7-17-109
 Tel/Fax: 06-6840-1014 E-mail: tifa99@nifty.ne.jp
 お問合せ、お申込みは 月~金曜 09:00~16:00(2009年4月より9:30~17:00)
 ホームページ: <http://homepage1.nifty.com/tifa/>

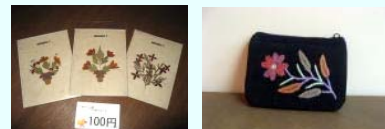
最新のイベント情報はホームページをご覧ください

♥心にも地球にもやさしいお買物♥

フェアトレード商品のご紹介

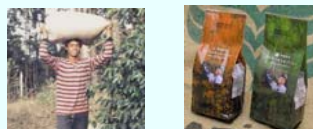
ネパールグッズ

ネパール・ドダウリ村の女性たちが手づくりした押し花カードやアクセサリ、紅茶などを頒布しています。



フェアトレードコーヒー

完全無農薬・有機栽培の中南米産のコーヒーです。スッキリ&ヘルシーです!



どちらも「グローバルとよなか」にてお求めいただけます。(☎06-6850-0502)

<会費・寄付金の振込先>
 加入者名: 特定非営利活動法人 国際交流の会とよなか
 ●ゆうちょ銀行(ぱるる)
 記号 14070 番号 41318851
 ●池田銀行 豊中支店(普通貯金)
 口座番号: 3643801



特定非営利活動法人 国際交流の会とよなか 2009年6月 発行

TOPICS

- 日・タイ青少年交流 参加者の感想 (1・2面)
- 環境プロジェクト始動 「エコミーからエコロジーへ」 パネル展開催中! (2面)
- ネパールプロジェクトニュース ネパール奨学金プログラムが始まりました(3面)
- ドダウリ村診療所・子どもの家訪問レポート(4面)
- TIFA 国際子どもキャンプ 2009 参加者の募集が始まりました(6面)

日・タイ青少年交流

5月3日から10日まで、タイ・シンプリ校から学生と先生が来日し、日本に住む学生との交流の機会を持ちました。キャンプ場で寝食をともにした参加者の声をご紹介します。

日・タイの学生たちの今後の活躍に期待

タイ国立シンプリ校と TIFA との交流は2004年から始まり、5年目を迎えます。日本語クラスへのボランティア教師の派遣やタイ・日本相互のスタディーツアーなどを通して友好関係が続き、将来日本とタイとの懸け橋の仕事に就きたいという生徒も出てきています。
 今回、若者同士が直に接し、お互いを知り合い、打ち解けあう中から両国間の理解・交流を深めたいと、日・タイ学生交流のキャンプとホームステイ交流を実施しました。親の国際結婚で来日して、大阪の高校に通うタイ人高校生等もキャンプに参加しました。日頃は日本語・日本の生活に不慣れなため、学校や地域で孤立しがちだった彼らが、このキャンプに参加し、リーダーとして活躍しているタイ人留学生やタイで日本語を勉強しているシンプリ高校生から刺激を受けて、目標を見つけたようで、とても活発に活動しました。
 22名の学生(高校、大学、院生)が寝食を共にするキャンプは、期待以上の友好を深め、それぞれが将来へ向けて踏みだすきっかけを見つけたようです。彼等のこれからの発展・活躍に期待しています。(葛西)



パクシニー先生(シンプリ校副校長)より
 はじめての日タイ国際交流キャンプで、とてもいい経験をさせていただきました。料理の作り方を教えあったり、日本の落語を練習したり、人前で演じたり。何よりみんなが協力し、助け合えたことが素晴らしかったと思います。「わいわいトーク」では参加者がすぐに仲良くなり、友だちや兄弟のような関係がすぐにできたのにはびっくりしました。友達になるのは言葉が違って大丈夫なんですね。国際的な交流活動は、「出会って知り合って、話し合う」ことが大切です。こんどはぜひタイに来てください!

- <スケジュール>**
- 3日 タイグループ関西空港着 キャンプサイトに集合
 - 4日 タイ料理作り、落語体験、わいわいトーク
 - 5日 まとめ & 発表 夕方、ホームステイ先へ移動
 - 6日 大阪市内見学(海遊館など)
 - 7日 日本の生活様式体験(ホストファミリーと)
 - 8日 学校訪問・授業参加 17時~ とよなか国際交流センターにて報告会とパーティー
 - 9日 京都見学(太秦映画村と京都市内)
 - 10日 午前、豊中市内見学 午後、バンコクへ。



シンプリの学生が梅花高校の授業に参加 報告会で寄せ書きを紹介

TIFA日・タイ青少年交流事業は、国際交流基金および豊中市民公益活動助成より支援を受けて実施しました。

■日・タイ青少年交流 参加者の感想より

- ▶自信をもって日本語を話せるようになった。
- ▶わいわいトークで意見交換ができたのが一番よかった。
- ▶日本に住むタイ人高校生の苦労した話と考えさせられた。
- ▶タイ人の心とこころの深さに驚いた。
- ▶遊ぶだけでなく互いの歴史や文化も勉強すべきと思う。
- ▶日本人とか外国人とかいう概念は必要ないと思った。
- ▶「交流」ということを学んだ。
- ▶シンプリ高校の生徒たちのまっすぐな瞳に感動。
- ▶明るいタイの子たちに心を溶かされたような気持ち。
- ▶みんな優しい。仲良くしてくれてありがとう。



■日・タイ舞踊交流

4月8日～19日、タイのラジャマンガラ大学より舞踊専門家グループが来日し、大阪に滞在されました。TIFA では有志でホームステイ、日本文化の指導、タイ舞踊公演、一品持ち寄りパーティーなどを企画し、楽しく交流しました。



環境プロジェクト

エコノミーからエコロジーへ

■パネル展「世界のエコ」に出展中

6月1日(月)から30日(火)まで、「くらしかん」の生活情報ひろばにて「世界のエコ」をテーマにパネルを展示しています。循環型社会に向けた外国の取り組みや、アジアで見つけたユニークな光景などのパネルを作成しました。ぜひご覧ください！



■環境井戸端会議(毎月第3日曜日)

毎月第3日曜日 12:30～13:50「グローバルとよなか」にて開催。新聞やテレビでは知ることのできないグローバルな環境問題を学び、話し合っています。どなたでもお気軽にご参加ください。

子どもたちに美しい地球を手渡したい (TIFA 環境プロジェクト・久保)

先進国に住む私たち日本人はタイタニック号の一等船客です。船底に穴が開いたのを知りながら、この船は沈まないと言われ続けた。三等船客(途上国)の人々は浸水する船底でどうすることもできません。

世界人口の半数が1日2ドル以下の暮らしをしています。毎日3万人の子供たちが貧しさのために亡くなっています。でも私たちには緊急にすべき船底の修理より、目先の経済のほうが大切なよう。子どもたちの命と安全よりもお金のほうが大切なのでしょうか？

環境問題は私たちの生き方の問題であり、学ぶことにより価値観は変わります。「我々は知る権利があると同時に学ぶ義務がある」元米副大統領ゴアさんの言葉です。環境問題への責任は私たちの世代にあります。子どもたちに美しい地球を手渡したいとの思いで活動をしています。

★「環境問題おすすめサイト」は次のページをご覧ください。



TIFA では、地球環境問題が世界共通の課題として避けて通れないという考えから、グローバルな視点で学び、身近なところで行動する取り組みを始めています。

■ドイツの廃棄物政策のプロ、平子さんのお話を聞きますか？

「エコノミーからエコロジーへ」～ドイツは日本とこんなにちがう～
日時：7月15日(水) 13:30～15:30
場所：くらしかん1F 生活情報ひろば
講師：平子義雄さん(兵庫県立大学名誉教授)

ドイツに行くと、なんと缶ビールがない！ペットボトルも丈夫で数十回再利用する。他にも日本では考えられない規制や工夫がいっぱい。ぜひ聞いて知って下さい。

■留学生フィリップさんから聞いたサンフランシスコの楽しいエコ

- ◆スーパーマーケットでは、マイバッグ持参が紙袋のみ。
 - ◆マイバッグ持参の人には抽選応募券をくれて、これに名前を書いて応募箱に入れておくと、毎月抽選で\$50が当たる！
 - ◆スーパーマーケットで発砲スチロールに入れて売るのは禁止。
 - ◆マイカップを持っていくと、アイスクリームがプレゼントされる日がある！
 - ◆マイカップ・マイ水筒を持っていくと、コーヒーやジュースが安く買えるし、水は無料で入れてくれる。
- さすが、エコを楽しんでいますね！



活動の風景から

■多文化子育てサロン

◆4月2日(木) TIFA 環境プロジェクトに協力して、「地球規模の食の問題と私たちの暮らし」(くらしかん生活情報ひろば事業)に参加しました。環境問題は子どもたちの未来に関わる世界共通の課題。まず知ることから始めます。お話の後、インドネシアの卵料理と韓国のゆず茶を紹介し、みんなでいただきました。



◆4月16日(木) きょうはとよなか国際交流センターを飛び出して、お弁当を持って万博公園のチューリップフェスタに行きました。色とりどりのチューリップが満開で、子どもたちはおおはしゃぎ、大人もリフレッシュした楽しい一日でした。



■在住外国人のためのリサイクルバザー

4月11日(土)とよなか国際交流センターで開催し、たくさんの来場者でにぎわいました。TIFA では毎年、春と秋に生活必需品のリサイクルバザーを開いています。家電製品・家具・布団など、来日したばかりの留学生等に大変喜ばれています。彼らの生活支援プラス資源の有効活用のために長年続けてきました。これからもご協力をお願いいたします。



久保さんの 環境問題おすすめサイト

下記のキーワードでGoogleを検索してみてください。

- えひめA I
- 地球を貪り食う
- 巨大企業モンサントの世界戦略
- こころの時代・宗教・人生「自然に沿って生きる」(以上は動画)
- デモクラシーナウ
- ヴァンダナ・シヴァ
- 国連が警告：肉食が環境問題の最大の脅威

■ワールドクッカー

「春のイタリア料理とお話」4月23日(木)

とよなか国際交流センター料理室にイタリア料理店の元シェフをお迎えして、イタリア家庭料理のフルコースの講習を受けました。ポーランド出身のフェデリカさんも交えて、イタリアと日本の食事についての考え方の違いなどのお話も聞き、有意義なひと時でした。



■TIFAセミナー

「もっとアフガニスタンを知ろう」

4月11日(土)とよなか国際交流センターにて講師：ラジ・サタルさん(元カブール大学図書館副館長) カンダハル出身のラジさんより、シルクロードの中心に位置するアフガニスタンの複雑な種族・部族構成や、歴史的・文化的背景について話していただきました。民族紛争から内戦状態がひどくなった時に台頭してきたのがタリバーンで、今そのイメージは悪いが、当時の無政府状態では厳しく取り締まらなければやっていけなかった。また、国には憲法があるが、国民の99.9%がイスラム教徒であり、憲法よりイスラム教の教えを信じているとのこと。今のアフガニスタンに必要なものは、きれいな水、女性の医療者、仕事、そして農業の復活。日本にいる私たちがアフガニスタンの平和のために何ができるか、これからもみんなで考えていきましょう。



■市民ネットセミナー

「北朝鮮の人たちの日常生活」

3月7日(土)とよなか国際交流センターにて講師：石丸次郎さん(アジアプレスインターナショナル代表) 主催：国際交流市民ネットとよなか

私たちがいかに北朝鮮についての偏った情報に支配されているかに気付かせてくれた講演でした。

北朝鮮の国民は洗脳されたロボットではない。未曾有の社会混乱を経て、国家に頼らず自分の頭で考え、自力で生きるパワフルな人々が増えている。そしてこの下から



の変化が国家体制を内部から揺るがしつつある—石丸さんの、本当のことを「伝えたい」という熱意に、ジャーナリストの真髓を感じました。